



ぐるっとマップ

No.244 名水あるところに銘酒あり

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

保存版

酒蔵に新しい酒林が飾られる季節となりました。名水あるところに銘酒あり。今回のマップでは、新酒が出始めた日本酒、ワインに地ビールと、ご当地の銘酒を紹介します。



3. Ferme 36

大町の冷涼な気候と、北アルプス山麓の扇状地を活かしたワイン作りを目指して、2019年にワイナリーをオープン。ブドウ栽培から醸造、販売までを自社で行っています。



4. Nishina (大町ワインぶどう生産組合)

大町産のぶどうを「あづみアップルスイス村ワイナリー」で醸造しています。「2014 Nishina シャルドネ」と「2016 Nishina ヌーヴォ」は日本ワインコンクール欧州係品種白部門で入賞するなど評価も高く、北アルプス山麓ブランドに認定されています。



5. ノーザンアルプスヴィンヤード

2008年よりぶどう栽培を始め、2015年に大町初のワイナリーを設立。小さな農家が始めたワイナリーです。このほどオンラインショッピングも始めました。<https://northernalps.stores.jp/> 今年の新酒は濁り発酵ではなくクリアなワインです。



8. 北アルプスブルワリー

「北アルプスの水でビールを造るとどんな味になるだろう？」そんな好奇心から始まったビールづくり。モンドセレクション特別金賞の水で造る色とりどりのビールを是非お試しください。

12. 池田のワイン (池田町ハブセンター)

- 北アルプスを見晴らす池田町東部の傾斜地で、日当たりや水はけの良さなど好条件に恵まれた畑で栽培されたぶどうで醸したワインです。年々人気が高まり、さまざまな賞を受賞しています。池田町ハブセンターで購入することができます。
- A. ヴィンヤール安曇野 (安曇野見): 安曇野メルロ、安曇野シャルドネ
 - B. 青木原果樹生産組合 (青木原): にごりメロンブラン、ピノノール
 - C. サッポロ安曇野池田ワイナード (中ノ郷): グランポレール安曇野池田ワイナード、メリタージュ、シラ、他
 - D. 倶楽部あぐりチャレンジ (林中): 小太郎 (シャルドネ)
 - E. (株)アグロ市場 (安曇): 桑の泉ワイン



このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557 これまでのぐるっとマップはホームページ <http://www.grutta.net> よりダウンロードできます。



1. 小谷錦 (道の駅小谷)

小谷村産の酒米「しらかば錦」で仕込んだ日本酒。蔵元は北安醸造で純米吟醸酒は北アルプス山麓ブランドにも認定されています。道の駅小谷では、小谷錦をはじめ小谷産のさるなしを使ったお酒やワインなど、地元のお酒を多数扱っています。



2. 白馬紫雲 (道の駅白馬)

白馬村青鬼集落の棚田で作られた紫米を使って醸した淡桃色の日本酒。蔵元は北安醸造で、北アルプス山麓ブランドにも認定されています。道の駅白馬では、白馬紫雲のほか、地酒を多数扱っています。

6. 北安大国 (北安醸造(株))

お米のおいさをそのまま味わえるほのかに甘口のお酒です。蔵元の北安醸造は大正12(1923)年創業で、大町の三蔵の中では一番小さい蔵ですが、それだけに丁寧な酒造りが身土です。



7. 白馬錦 (株)薄井商店

甘辛のバランスの良い味わいです。酒米はすべてエコファーマの契約農家と一緒に作った地元産。蔵元の薄井商店は明治39(1906)年創業で、最近では酒造りから派生して、粕汁や日本酒コクスの開発・販売もしています。



9. 金蘭黒部 (株)市野屋

キレイくすきりと丁寧仕上げた、やや辛口の味わいです。蔵元の市野屋は、慶応元(1865)年創業。杜氏が変って初めてのお酒を干支ラベルとして販売中。金蘭黒部の他に市野屋シリーズも随時発売していきます。



10. 北アルプス/レベル・シドリ (福源酒造(株))

酒造りと作り、西方の技術を持った杜氏蔵人が醸した日本酒です。蔵元の福源酒蔵は宝暦8(1758)年創業。信州産りんご100%の果汁を原料に一切水を加えずに製造したシドリも自慢です。レベル・シドリは標準より辛口で、さまざまなお料理によく合います。



11. 大雪溪 (大雪溪酒造(株))

地元のお米と水にこだわり、正直に地道に真心こめて醸した日本酒です。蔵元の大雪山は明治31(1898)年創業。2016年には江戸時代末期建立の蔵元の主屋を再生した直営店「花紋大雪溪」がオープンしました。旬のお酒の試飲と共に趣ある建物と庭園をお楽しみください。



※このマップは、2019年12月21日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。